

丸山湿原群保全の会会報

(第 210 号)

発行日：2025 年 (R7) 1 月 15 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788

090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail:maruyamashitugengun@gmail.com



戦争は最大の環境破壊と、差別を生み出します！

新年を迎えました。発行日が小正月。関西？では松明けとなります。小豆粥を食べる？赤色が邪気を払って無病息災を招くとか。「とんど」の残り火で焼いた餅を入れたり・・・中国に起源を持つ平安時代からの風習だとか。貴族の特権だったとは思いますが。

粥と言えば七草粥の方がメジャー。

「君がため 春の野に出でて 若菜摘む 我が衣手に 雪は降りつつ」(光孝天皇 (こうこうてんのう) 古今集・百人一首)「若菜摘み」は宮中の「供若菜 (わかなをくうず) の儀」のことだそうで「人日の節句」、正月の 7 日に当たるそうです。こちらが七草粥のルーツだとか。一年の健康を願い、冬の寒さにも負けず青々としている野草を刻んで粥に入れ食べる。天皇が皇子時代の歌だとか。即位後 3 年で亡くなったのは皮肉なことですが・・・。

前にも書いたような気がします。平安時代前半は気候温暖期。ただ、現代の平均気温よりは低かったようです。(東京大学大気海洋研究所.2017) その後寒冷期になり農作物に影響がでたことが、動乱のきっかけになったとか。食えなければ世は乱れる。今は逆ですね。暑さのために食糧問題が起きつつある。地球の身震いは生き物に大きな影響を与えるようです。

今年の冬は久しぶりの寒さ。というより急に冬になって戸惑っているだけかもしれません。雪も最近よく耳にする JPCZ (日本海寒帯気団収束帯) によるものだとか。日本海の海水温の上昇により水蒸気が多く発生。日本に到達して大雪を降らせる。夏の台風の巨大化と同じ構造なのでしょう。偏西風の蛇行。黒潮の蛇行。やはり気候変動は生き物にとって脅威です。

さて、一年が始まったばかりですが今年はどうなるやら。米騒動、物価高、まだまだ続きそうですが全て「人間」世界の事。せめて「身近な生活」が平和でありますように。

(今住 1 月 11 日作成)

定期活動 ★12月22日(日) 第3 湿原又マガヤ刈り他 14名で作業(2名の助っ人あり)

2024 年最後の活動です。午後は「西谷の森公園 農舎」で納会。



この日は久しぶりに監督とお母さんが参加してくれました。しかもお母さんはこの 1 年間でスキルアップ!「自然観察インストラクター」(公益社団法人 大阪自然環境保全協会主催)の講習を修了?今回はその同期生 2 名も保全作業に参加してくれました。

監督はちょっと見ないうちに「巨大化」。足のサイズも 28 cm に。長靴のサイズが合わず。急遽宝塚市からの支給品に追加していただき、ばっちり活動日に間に合いました。

新しい長靴を履いて、直立不動の監督と市からの支給品

手袋も含め、ありがとうございました。作業用品の値上がりもすさまじく、以前と同じ手袋は頼めず「モノタロウ」オリジナル製品を。さて、耐久性・使い心地はどんなものでしょうか。噂によれば市の財政も相当厳しいようで、削られないよう頑張りましょう。

前は第4湿原の作業。今回は第3湿原。面積の広い順番に番号が振ってありますので、今回の方が広い。さて、半日でどれだけ片付くか？作業人数は多い。刈払い機は4台。チェーンソー1台。

手刈り軍団9名はなかなかや！（高齢化はおいといて…）いくで～～と思ったら、いきなり「新



ぱっと見はヤマアカか？



あごの汚れはタゴ

インストラクター」が「カエル」と。ぱっと見「ニホンアカガエル」。「ニチアカ」ですと…思い込みは怖い。「ヤマアカガエル」は最近見ていない。この時期？「間違いなし！」と思いきや、顎の裏を見てもみると黒い模様（しみ？）が…「タゴガエル（田子蛙）」やないかいな。慌てて訂正。「タゴですね」と。その方も別の場所で同じような子を見たとか。

「知ってたんと違うか？」という疑問がふつつ

と…試された？と今頃思っています。邪推です。ごめんなさい。なんでも鵜呑みするのはいけません。ちゃんと自分の意見を。言ったら時々怒る人もいますが…しっかりリテラシー能力の向上を。と自分に言い聞かせています。

さて、刈り取り作業は順調に進んでいきます。周辺の萌芽再生しているソヨゴ（冬青）も処理。



作業開始！

刈払い機は好調。手刈り軍団はマニアックな木道下の刈込み。細かいところの整理。刈り取った草の運び出しと大忙し。最もしんどいかもしれません。しかし、おもしろいものが見つかるのも手作業だからこそ。オオカマキリの卵。鳥の巣。未だ花の残ったウメバチソウなど。機械は効率がいいのですが、どうしても荒っぽくなってしまいます。前回の活動でも誤ってリュックをバツサリと。保険が出ないと思っていたのですが、よく調べると「出ます！」。只今申請中！どこのボランティア活動でも使えますので、



超マニアックな歩道下刈り

もし、けがや物損がありましたらご連絡ください。ただし、自身の物（物損）には出ませんのでご承知を。ソヨゴ整理のチェーンソーは機嫌が悪くなって途中棄権。（ちなみに「社協」の保険はチェーンソーには対応していません）手鋸作業に。鋸で伐っていると、チェーンソー（超小型なのに）の威力に驚かされます。危険と荒っぽさは伴いますが…なんでも使い方ですね。スキルアップ！修理やメンテナンスもしっかりできるように。修理は完了！部品 800 円。



がんばれなかった まめチェーンソー



どうよ？ スッキリ！

チェーンソーにもたもたしている間に、作業は進みお昼に。約 7 割方刈り取り終了か？よく頑張った。エライ！最近真面目…カエルもカマキリの卵も鳥の巣も見つけたから OK。楽しかった。ただ監督は最近運動不足のようで



出てきた鳥の巣 地面に巣？ホオジロか？

結構へばってました。どうした中学生！彼女に笑われるぞ…いるかどうかは不明。おるやろな。連れてらっしゃい。知らんけど…。あんまりいじったら怒るね。ごめんなさい。また参加してね。



さー帰りましょうか…

もう一点。昨年11月の「里山フェスタ」で表彰を受けましたが、その時「兵庫県緑化推進協会会長」がなぜか不在だったため受け取れなかった表彰プレートが12月19日に郵送されてきました。それをお披露目。ヒノキ



とってもいい香りの表彰盾

(檜)の香りが清々しい美しいプレートでした。レーザー彫刻(ウッドバーニング?)されてる木は、クスノキ(楠=県樹)かと思いますが。クスノキの香りではなかった。どこに置くかは検討中。

午後は「西谷の森公園」西の谷農舎に移り「納会」。しかし寒い！業務用石油ストーブはつけていただいたものの、藁葺の天井無し。全く温もりません。そんな状況でも結構雑談は弾みました。来年度の話や、ガイド研修地の話など。

研修で気になるのはバス代。数年前から「2024年問題=物流の働き方改革」で費用が大幅にUP。これまでは「畑崎財団」の表彰でいただいた賞金を充てていたのですが、そろそろ枯渇しかけています。参加費の値上げもやむなしと。安すぎたんですが…しかし本当に至極まじめな研修ツアーをやっています。弁当持ち。観光なし。候補地は出ましたが、もう少し検討が必要かも。寒い寒いと言いながらも約2時間お話をできました。

定期活動 ★1月11日(土) 寒波襲来で中止！(データは12日(日) 午後)に計測)

目的	市内	市外
丸山	15	31
ハイキング・登山	61	100
散歩	61	15

来場者数計283人
(竹筒ポスト集計)

場所	時間	気温【水温】	電気伝導(EC)	PH
入口	13:30	4.8℃		
第3湿原	13:58	【4.5℃】	32.4 μS/cm	6.5
視点場	14:35	4.6℃	35.4 μS/cm	5.6
第1湿原	14:45	【5.1℃】	31.4 μS/cm	6.6
第2湿原	15:05	【2.1℃】	32.8 μS/cm	6.5

新年最初の活動ですが、9日(木)の雪と低温で土は完全に凍っています。11日明け方にも降雪予報があり、安全のため中止としました。結局雪は降らずでしたが、気温は-4℃ぐらいまで下がったようです。前日は-6℃。(三田アメダス-0.7℃=標高差)本来毎日-3℃ぐらいまでは下がるものなのですが、やはり昨年が暖かすぎた。寒さがこたえます。インフル



9日の我が家の前(玉瀬)

やコロナ、肺炎に苦しんでいる人も多い。ご自愛ください。

気象庁の平均気温の更新で平年並みが高くなっているとは思いますが、年に1度か2度は-9℃から-10℃になります。給湯器も保温(ヒーター入り)していてもなぜか凍る。当然お湯が出ない。今年はまだそんなことはありませんが、ないのも何か物足りない。いや危機感を感じます。(私だけか?)



活動日前日 (10日) 昼 玉瀬某所



イノシシさん サウナの後にどうぞ

と、世間話を入れても紙面が埋まりませんので**翌日 12日(日)にデータとネタ探しに行っていました。**気温はここ数日ほど寒くなく 5℃前後。しかし、向かう道にはまだ雪が残っているところも。エントランス平場のイノシシの「ぬたば」も凍っていました。今は使ってないでしょうが…イノシシの数も少ない。昨年はキノコもほとんど出ませんでした。雨の少なさと気温の急激な変化が原因らしい。しかし寄生キノコはコンスタントに出ています。といっても1種のみですが…**クビオレアリタケ (首折蟻茸)**です。冬虫夏草(菌類)ですが漢方薬としては活用されていないようです。いつでも見られるのが不思議ですが、丸山湿原周辺では発見以来、毎年安定して観察できます。**トゲアリ (棘蟻)**の巣が終わると見られなくなると思いますが、20年以上続く巣もあるそうです。1匹の女王蟻が20年も生きるのか?卵を産み続けることができるのかも謎です。巣内で女王蟻が再生産されている?このアリ自体、別のアリ(クロオオアリ・ムネアカオオアリ)の巣を乗っ取って一時的に「社会寄生」し、入れ替わるという驚異のアリです。そのトゲアリに寄生するキノコ(菌類)。さらにそのキノコに寄生するキノコまでいます。(重複寄生)この日撮ってきたトゲアリ(死体)は顔や胴体に何やら白い膜が見られました。(飛び出しているのはクビオレアリタケ)ひょっとするとこれは別の「何か」かもしれません。蜘蛛の巣か?



12日(翌日)の森公園近く



この時期でもクビオレアリタケが…

データを取り終えて帰る歩道から第1湿原を見てみると、最近頑張っていたバッファゾーンがすっかりとしてきました。夏場は常緑樹も落葉樹もみんな葉っぱがあって(当たり前や!)緑で湿原が見えません。



ほぼ手刈りでここまですっきり

ブは少し減らす必要あり、と話しています。土嚢(生分解)ダムもよく機能し、**ヒメタヌキモ (姫狸藻)**の枯れた集まりが確認できます。アカガエル類・セトウチサンショウウオの産卵場所にもぴったりの環境です。「さらに増やしていこう」と言いながらなかなか進まないのが現状ですが…



土嚢ダム ええ感じや 次はいつやるの?

次回活動日 1月26日(日) 2月8日(土) 23日(日) 3月8日?両生類卵塊数調査 23日(日)